

高松市立川岡小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

豊かな心を持ち、自ら学ぶ意欲と実践力に富む、たくましい子どもを育てる

【本校の課題】

- 男女とも、多くの学年で握力、シャトルランの値が低く、県・全国平均を下回っている。
- 運動が好きと答えた子どもの割合が、男子では8割を超え、県・全国平均を上回っているが、女子では嫌いと答えた児童が2割を超え、県・全国平均を上回っている。
- 昨年度、昼休みに外に出ず、教室で過ごす児童が一定数いた。

【現状】

休み時間等には元気よく運動場で遊んでいる児童が多いが、依然として教室内で過ごす児童が一定数いる。また、ボール遊びや鬼ごっこ、一輪車など様々な運動に取り組んでいる。体育の授業は、年間計画に基づき、各学年で工夫しながら行っているが、他クラスと競争する機会はほとんどない。

【取組み】

わくわくタイム

毎週火曜日の昼休みを「わくわくタイム」と設定し、全校生が運動場へ出て遊ぶ日とする。また、各クラスで遊びを考える係を設定し、わくわくタイムには、係が考えた遊びにクラス全員で取り組む。

各種のカードを実施

持久走カード、縄跳びカード等に記録していくことで、友だちと競い合ったり、以前の自分と比較して伸びを実感したり、意欲を高めたりできるようにする。また、この取り組みを通して持久力を高める。

環境の整備

運動場にジャンピングボードを複数台設置し、縄跳びに意欲的に取り組めるようにする。また、握力測定ができるコーナーを校舎内に設け、自身の筋力に関心をもてるようにする。

体育授業の充実

体育の授業を充実させるために、現職教育で実技講習会を実施したり、互いの実践内容を交流したりして、指導力向上に努める。

【目標】

- 運動が好きと答える児童の割合を、2020年度までに男女とも90%にする。
- 握力・シャトルランで県・全国平均を上回るようにする。
- 昼休みには全児童が運動場で遊ぶようにする。